



瀬戸内チャレンジャーアワード vol.3

開催報告書



瀬戸内チャレンジャーアワードとは？

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトが、地方で起業に挑戦する地方創生起業家（地方創生チャレンジャー）の発掘、育成を目指し、発表の場として日本各地で開催しているビジネスプランコンテスト「JAPAN CHALLENGER AWARD」

その地方版として、香川・瀬戸内で活動する起業家等を対象にしたビジネスプランコンテストとビジネスマッチングイベントが「瀬戸内チャレンジャーアワード」です。

最終発表会では7組のファイナリストが、地域課題をビジネスで解決するアイデアを発表し、審査員と会場に集まった観客の投票によりグランプリを決定します。

また瀬戸内チャレンジャーアワード vol.3に出場したチャレンジャーは、2023年秋に神奈川県鎌倉にて開催予定の「いざ鎌倉！地方創生の祭典～JAPAN CHALLENGER AWARD 2023～」に推薦予定。

瀬戸内チャレンジャーアワード vol.3 開催概要

最終発表・審査会

【日時】

2022年10月8日（土）14:00～17:00

【場所】

情報通信交流館（e-とぴあ・かがわ）5階
BBスクエア

【チャレンジャー】※五十音順

合同会社 higoto
富永 鳳馳
てくてく Tech
佐野 美枝子
馬場 健誠
高商和三盆ガールズ
Setouchi Club

【司会】

池嶋亮（Setouchi-i-Baseコーディネーター）
桐島 逢純桜（小顔すぎるうどん県ナレーター）

【審査員】※五十音順

〈審査員長〉宮本 吉朗/株式会社アムロン代表取締役会長・CEO
〈審査員〉小西 昌伸/株式会社百十四銀行 リテール推進部兼地域創生部長
藤澤 朝美/香川県政策部デジタル戦略総室デジタル戦略課長
真鍋 康正/ことでんグループ代表
柳澤 大輔/面白法人カヤック 代表取締役CEO

【審査方法】

審査員5名による採点
+観客による投票

【賞・審査基準】

グランプリ 準グランプリ
・共感性（みんなをワクワクさせるものか）
・社会性（世の中を良くする内容か）
・具体性/計画性（夢を具体的に描き前進しているか）
・パフォーマンス性（自分の夢をちゃんと伝え、観客を魅了できるか）

【主催】

香川県

チャレンジャー募集要項

【応募資格】

- 年齢、国籍は不問
- 香川県で事業を展開しているスタートアップ企業（創業3年以内）
- 香川県での起業を検討している個人、団体
- 第二の創業や新規事業を検討している香川県内企業の担当者

【エントリーシート項目】

- ① あなたのビジネスを一言で表現してください（30文字以内）
- ② 活動地域に対し、どのような貢献を考えていますか？
- ③ あなたのビジネスモデルを詳しく教えてください。サービス内容、ターゲット、収益化の方法など。
- ④ 今後の5カ年計画を教えてください。売上、利益など出来るだけ具体的に教えてください。

【チャレンジャー募集】

2022年6月1日（水）～7月29日（金）

【スケジュール】

○7月30日（土）
11:00～12:00：起業セミナー
ジャパンチャレンジャープロジェクト（JCP）代表理事の中川氏による講演「地域（地元）起業が最強のビジネスモデルである」

13:00～17:00：ワークショップ
「地方で稼ぐビジネスモデルを作る」

○7月30日（日）
11:00～12:00 ワークショップ
「地方で稼ぐビジネスモデルを作る（前日の続き）」

13:00～15:00 事業プラン発表（アワード予選）

※以下、予選通過者のみ

◆個別ブラッシュアップ面談
ジャパンチャレンジャーアワードの専門家とSetouchi-i-Baseコーディネーターによるブラッシュアップ

◆プレゼンテーションレクチャー
当日発表のためのパフォーマンス指導

事前セミナー&アワード予選会

「瀬戸内チャレンジャーアワードvol.3」への出場を目指す方を対象に、**起業セミナーとアワード予選会を実施**。セミナーの講師は「地方起業の教科書」の著者で“地方で稼ぐ新しい働き方”を提唱する、ジャパンチャレンジャープロジェクト代表理事の中川氏。「地域（地元）起業が最強のビジネスモデルである～ビジネスモデルの作り方～」をテーマにご講演をいただき「**地方における起業の可能性**」「**地方で稼ぐにはどうしたらいいのか**」など、**地方起業の秘訣を学んだ**。

また、後半には「地方で稼ぐビジネスモデルを作る」と題したワークショップを実施。

その後、アワード予選会を開催し、チャレンジャーは作成したビジネスプランを発表した。



審査会の様子▶

2日目の予選会は、中川氏に加え、香川県民情報サービス株式会社の横田取締役と香川県デジタル戦略課の石井課長補佐の3名による採点で実施



【日 時】

2022年7月30日（土）11:00～17:00
2022年7月31日（日）11:00～15:00

【場 所】BBスクエア 【参加者】18名

【参加費】無料

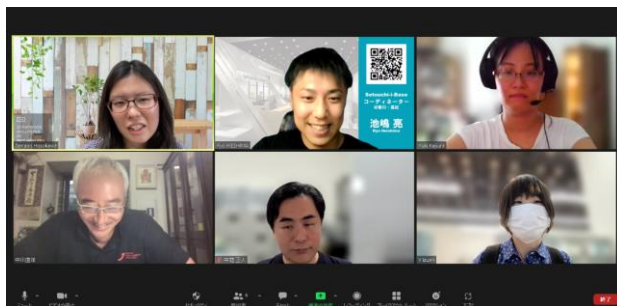
【特典】全員に講師の著書「地方起業の教科書」をプレゼント

個別ブラッシュアップ

予選会を通過した7組のチャレンジャーにJCP代表理事の中川氏より、オンラインで個別ブラッシュアップ面談を実施。

本番までに各チャレンジャーに2回ずつ、合計14回行った。

また7名のチャレンジャーそれぞれの事業内容に応じて、Setouchi-i-Baseコーディネーターが2名伴走担当となり、本番までの事業プランのブラッシュアップや資料作成など全面サポート。現状の課題を認識し、それぞれ残りの約2か月で強化すべきポイントを学んだ。



プレゼンテーションレクチャー

Setouchi-i-Base池嶋コーディネーターより最終発表・審査会に向けて目指す上で重要な「プレゼンテーションの極意～起承転結～」をオンライン講義形式で実施。

またセミナー後はコーディネーターが個別に発表内容のブラッシュアップを実施。7分という制限時間で、審査員や視聴者にビジネスプランをしっかりと伝えられるようアドバイス。アワード後のビジネスを展開する際にも使えるノウハウや視点を提供した。

プレゼンテーションの極意

まとめ

起 (ミッション)
起こして観衆を話に引き込み

承 (やりたいこと表明・ビジネスモデル)
メインテーマを展開し

転 (戦略・バリューを伝える)
事業成功するための戦略を説明し、

結 (挑戦・宣言)
挑戦、宣言することを全体をまとめる。

発表のポイント

- ▶ イベント・アワードの趣旨を理解する。
- ▶ 審査員のキャリア・業種からポイントを推察する。(起業経験、金融系、大学系など)
- ▶ 来場者の方の傾向を予測する。
- ▶ 審査項目をしっかりと自分なりに理解する。
- ▶ まず原稿を作成して、全体構成を作る。
- ▶ 最初から最後まで通して話してみてもう他の動画タイトルに一貫性があるか確認する。

チャレンジャー発表①

女性視点で端材に命を吹き込む！ご褒美アップサイクルブランド 合同会社higoto（共同代表 梶原 麻美子・鈴木 友里恵・林 由紀子）



それぞれが異なる分野のプロフェッショナルとして活動するママさん3人で結成したhigotoさん。

手袋のまち東かがわ市の端材を活用して、女性が本当にほしくなる、感動するバッグの事業プランを発表してくれました。



当日は、この日のために何とか間に合わせたという商品のプロトタイプも持参してくれ、審査員や観客は実際に手に取って彼女たちの商品を見ることができました。

チャレンジャー発表②

探求授業でα世代のニーズを掴み取れ！α世代の声を集める総合商社 富永 鳳馳 / 大手前高松中学校3年生



2年連続で決勝に挑んだ富永くん。

昨年度グランプリを獲れなかった反省を生かし、今度は学校の探求学習で先生が困っているという課題を解決するアイデアを発表してくれました。

富永くんの会社が仲介役となり、現在の中高生に当たるα世代（Z世代の次の世代）が企業の課題に向き合い、彼ら彼女らが出す若者のアイデアを企業に販売するというユニークなプランでした。

またそのプロジェクトにはファシリテーターが重要だと説明した上で「僕はこの方たちを雇います！」とSetouchi-i-Baseコーディネーターの写真が出た時は、会場がざわつきました。笑



チャレンジャー発表③

見習いエンジニア求む！3年限定の勤務先で圧倒的な成長をあなたに てくてくTech（細川 たまみ・泉 友美子・梶浦 由貴）



てくてくTechは、Setouchi-i-Baseで開催しているエンジニア育成のプログラム「かがわコーディングブートキャンプ」の参加者を中心に構成されたチームです。

新米エンジニアが実際に就職できるまでの間に存在する大きな壁を、新米エンジニアが実績としてカウントできる案件だけに特化して集めてくることで解決できるのではないかと、というプランを発表してくれました。

Setouchi-i-Baseの施設としてのコンセプトに非常にマッチしたアイデアで、このアワードの結果に関わらず、是非実現化してほしいサービスでした。

チャレンジャー発表④

今いる場所から1歩前へ！香川の観光業界を元気にするRUNWAYSプロジェクト 佐野 美枝子 / RUNWAYS代表



佐野さんは元フリーアナウンサーという経歴を生かし、香川県を中心に活動するオペラ歌手やコミュニケーションの専門家などプロの表現者たちを講師に招いて、観光業界で働く人たち向けに「表現力がアップする研修」を展開し、観光産業から香川を元気にするプランを発表してくれました。

コロナによって大きな打撃を受けた業界を、コロナ前以上に盛り上げるための研修プログラムとして、非常にワクワクする事業内容でした。

チャレンジャー発表⑤

好きが集まる僕らの秘密基地プロジェクト 馬場 健誠 / 馬場商事代表



実家の不動産業を、新たなコンセプトとして自分の事業にしていくプランを発表してくれた馬場さん。胸にある熱い思いがなかなか言語化できず、予選通過後もかなり苦しみました。本番までにしっかり自分の言葉に昇華させてきてくれました。

事業プランは、多様な人が自分の好きなことで仲間と出会う「コンセプトシェアハウス」でした。

縮めて語ったのはおじい様からの言葉。
「早く行きたければ1人で行け。
遠くに行きたければみんなと行け。」

それに対して「僕は遠くにみんなと行きたいです。」と力強く宣言する姿に、観客も心動かされたことでしょう。

チャレンジャー発表⑥

和三盆がJKのトレンドに?! 高商和三盆ガールズ、動きます。 高商和三盆ガールズ (高松商業高校 3年都築 玲子、2年山岡 陽渚・北岡 優)



JKパワー全開のプレゼンを披露してくれた3人。ただ勢いがあるだけではなく、しっかりとマーケティング調査をし、自分達の商材である和三盆の売り筋を見つけ、商品化に向けて自分達にできること、協力してほしいことを整理して語る姿は、本当に頼もしく映りました。

プレゼンの最後には、真鍋審査員に「あなたにしかできません！ことちゃん和三盆を作らせてください！」とド直球のお願いをする3人。その度胸と可愛いプレゼンテーションに会場から拍手が起きました。

このあたり、本当に商品化されるのか！？
楽しみです！

チャレンジャー発表⑦

伝統工芸に新たな価値を！世界が欲しくなる工芸品を生み出すイノベーション工房 Setouchi Club（共同代表 西尾 秋生・久保 聖）



最後のチャレンジャーは西尾さん、久保さんの2人組で結成したチームです。香川が誇る産品である庵治石を、世界の富裕層向けに商品化する事業プランを発表してくれました。

西尾さんの巧みなプレゼンテーションと、ガラス装飾職人の久保さんのガラス作品を目の当たりにし、最後には実際に販売を目指している商品のサンプルまで飛び出して、観客を驚かせました。



女子高生の元気満点のプレゼンの後・・・

絶対にやりにくかったと思いますが、そんな空気をもものともせず、しっかりと自分たちのプランを語り切り、これまでのチャレンジャーに負けないインパクトを残しました。。

アーカイブ動画

Setouchi-i-Baseの公式YouTubeチャンネルにて、アーカイブ動画が視聴可能。



審査員

各プレゼンテーション後には、5名の審査員より様々な視点から感想やアドバイスをいただきました。



小西 昌伸氏
株式会社百十四銀行
リテール推進部兼地域創生部長



柳澤 大輔氏
面白法人カヤック代表取締役CEO



藤澤 朝美氏
香川県政策部デジタル戦略総室
デジタル戦略課長



真鍋 康正氏
ことでんグループ代表



〈審査員長〉宮本 吉朗氏
株式会社アムロン代表取締役会長・CEO

最終結果

グランプリ



準グランプリ

